資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

2024年5月10日

アイサンテクノロジー株式会社

目次

1. 資本コストや株価を意識した経営への取り組み ・・・ 3

2. 株主還元方針と配当政策 ・・・10

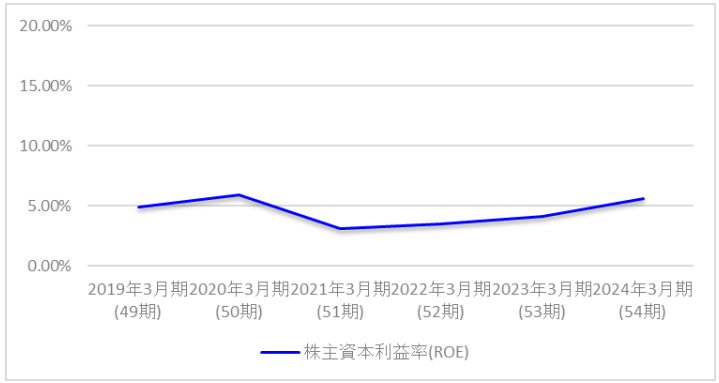
3. 資本政策 ・・・12

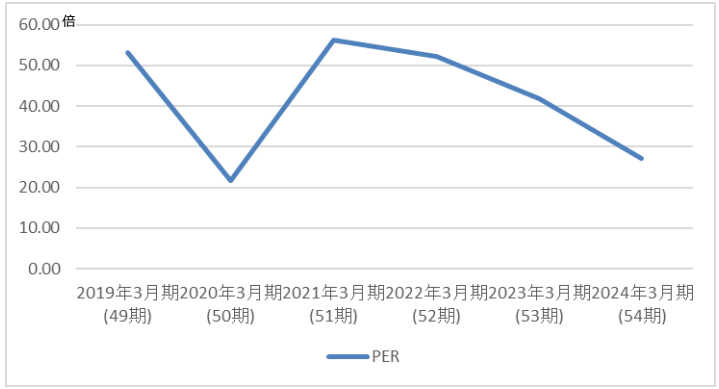
Copyright © 2024 Aisantechnology All Rights Reserved.

PBRに関する現状認識

- 株価が軟調に推移していることもあり、PBRは2倍超から1.5倍前後に下落している状況
- PBRをROEとPERに分解すると、ROEは、5倍前後で推移、PERは株価の軟調な推移とともにこの数年下落傾向

PBR（株価純資産倍率） ＝ ROE（自己資本利益率） × PER（株価収益率）



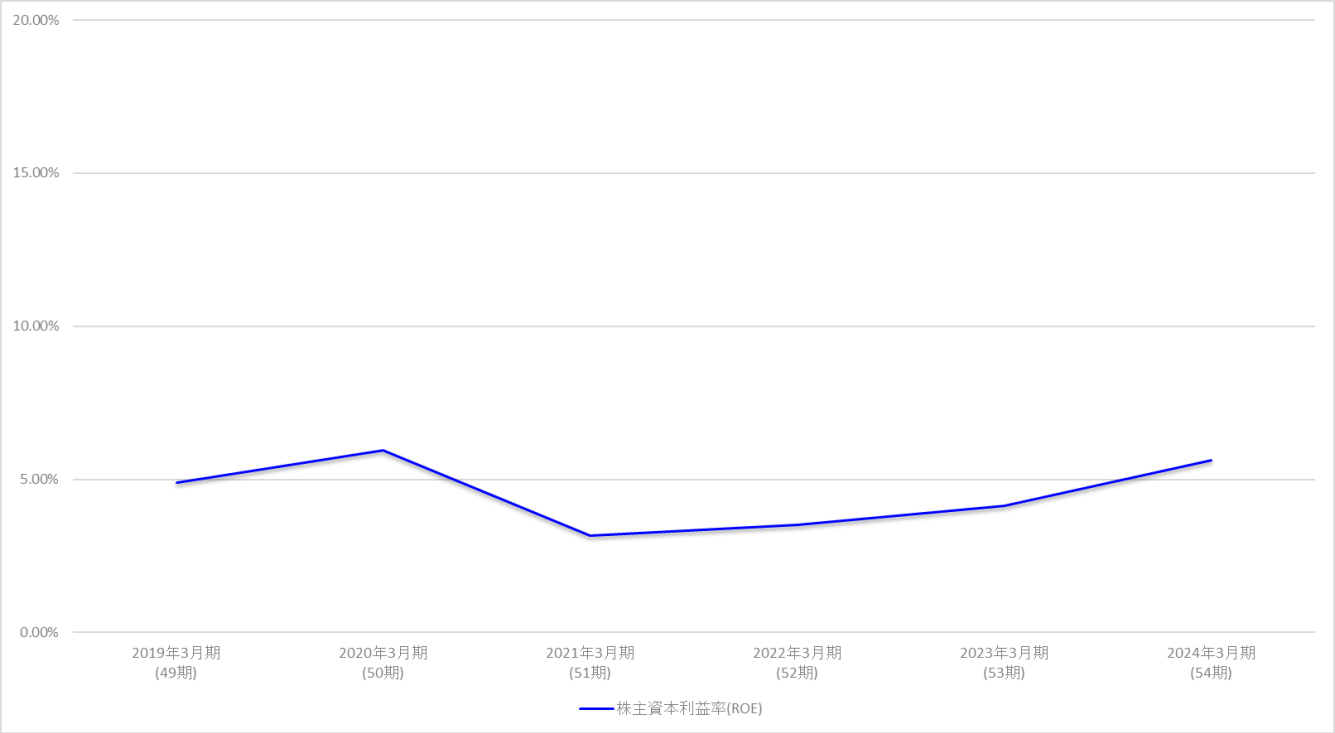


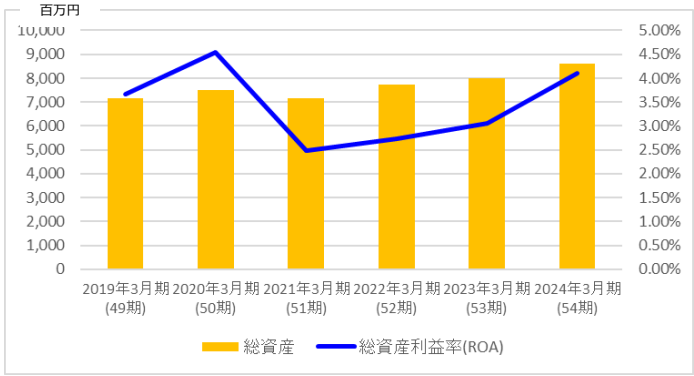
Copyright © 2024 Aisantechnology All Rights Reserved.

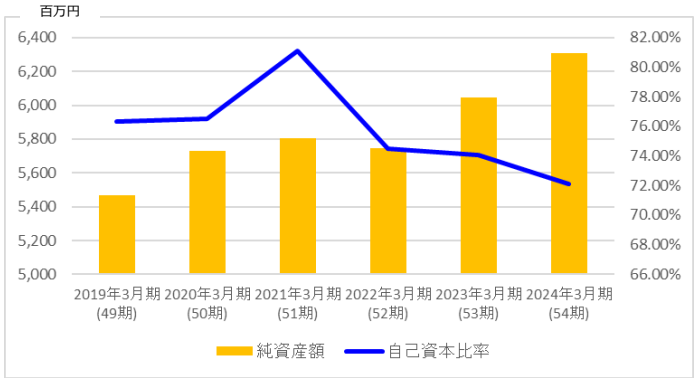
ROEに関する現状認識

- ROAは2%半ばから4%超まで回復の傾向。当期純利益をどこまで拡大できるかが上昇のポイント。
- 自己資本比率は、70%超を維持する水準で推移している。

ROE（自己資本利益率） ＝ ROA（総資産利益率） ÷ 自己資本比率







Copyright © 2024 Aisantechnology All Rights Reserved.

資本コストや株価を意識した経営への取り組み

企業価値向上の一環として、資本コストや株価を意識した経営が唱えられています。当社グループでも、中長期的な経営の取り組みとして重要な位置づけと考えております。

中期経営計画の取り組みとして、「資本コストや株価を意識した経営」に関して、現状分析と対応を通じて目標達成に取り組んでまいります。

資本コスト・株価を意識した経営として中期経営計画で取り組むこと

1. 売上高と営業利益率伸長による収益力の向上

2. ROE、ROA、ROICの改善によるPBRの向上

3. 広報・IRの強化と株主還元強化によるPERの向上

Copyright © 2024 Aisantechnology All Rights Reserved.

資本コストや株価を意識した経営への取り組み

1. 売上高の成長と営業利益率の改善による収益力の向上

	24年3月期末実績		27年3月期末目標	目標へのアプローチ
売上高成長	54億円	→	80億円	• 収益力の高い、自社製品・サービスを継続的にリリースするため、研究開発投資と人財投資を継続して行います。 • 付加価値の高いサービスを提供することで他社との差別化を図ります。 • 全国自治体・交通事業者との連携で自動運転社会実装領域での収益獲得によるトップラインの成長を促します。
営業利益率改善	8.2%	→	10%	• 上記の自社製品・サービスの継続的なリリースにより、連動して利益率の改善に繋がり、結果営業利益改善に繋がります。 • 請負業務に係る生産の内製化推進、効率化を促進することで売上原価の低減を図り、営業利益率の改善を図ります。 • 人財採用後、収益貢献できる人財にスピーディに育成するとともに、リスキリング等を通じてより収益性の高い分野での貢献を促すことで収益に繋げます。

→ **売上高：80億円**
営業利益：8.5億円

Copyright © 2024 Aisantechnology All Rights Reserved.

2. ROE、ROA、ROICの改善によるPBRの向上

	24年3月期末実績		27年3月期末目標	目標へのアプローチ
ROE	5.6%	→	8.0%	• ROEの向上に向け、コア事業における収益力を高め、利益の規模拡大が最優先事項と考えます。そのために以下の取り組みを行います。 ① 前頁の通り売上高の成長、営業利益率の改善に取り組みます。 ② 既存事業では体質強化を図り、新製品、サービスを継続的にリリースすることで稼ぐ力を強化し、持続的成長を目指します。 ③ チャレンジ分野では人財、資金を積極的に投入し成長をドライブさせます。 • 当社グループとのシナジーが期待され、必要に応じ成長戦略に資する企業のM&Aを実施します。 • 経営環境、株式市場の状況に応じ、株主還元策の強化を行うとともに、資産回転率の改善に努めます。
ROA	4.1%	→	6.0%	
ROIC	4.9%	→	8.0%	• 次頁のROICツリーに記載の取り組みを行います。

→ **PBR：2.5倍**

Copyright © 2024 Aisantechnology All Rights Reserved.

2. ROE、ROA、ROICの改善によるPBRの向上

ROIC		プロセス目標		目標へのアプローチ
	営業利益率	受注高・売上高成長	売上高成長率	自動運転事業のマネタイズ
			販路の強化	販売パートナーとの関係強化
		新製品・サービスの売上高	研究開発成果による新製品開発	3D DX関連の自社ソリューションのリリース
				クラウドを活用したサービス提供
		サポートサービス収益拡大	サポートサービスメニューの拡大	グループ連携による独自サービスの展開
		売上原価率	仕入調達コストダウン	調達ルートの絞り込みと交渉力強化
			生産業務の内製化の強化	受注に応じた適正配置、人財投資と育成
			品質向上による追加コスト抑制	業務フローの整備とスキルアップ
			追加原価発生の抑制	受託請負業務の見積精度の向上
				開発計画・工数見積の精度の向上
		販売管理費の抑制	営業部門・コーポレート部門の固定費	投資人財の育成による収益貢献
	投下資本回転率	売上債権回転日数	滞留債権	滞留債権の削減・与信管理の強化
		棚卸資産回転日数	滞留在庫・不良在庫	適正在庫数量の厳格化
		固定資産回転日数	生産効率	生成AIなどDX投資による生産性改善
	実効税率	実際負担税率	税務ガバナンス	適切な税務処理・税制優遇の活用

Copyright © 2024 Aisantechnology All Rights Reserved.

3. 広報・IRの強化と株主還元強化によるPERの向上

	24年3月期末 実績		27年3月期末 目標
PER	27.0倍	→	35.0倍

目標へのアプローチ

【対話・情報発信の強化】

- 株主との対話、情報発信強化を前中期経営計画以上に推進を図っていきます。
- そのために広報・IRに係る部門を早期に立ち上げ、様々な方法での情報発信に努めてまいります。
- 決算説明会に関して、従来オンライン開催としていましたが、リアル開催とオンライン開催のハイブリッド形式で開催し、直接、投資家の皆様と対話可能な場をご提供いたします。リアル開催も名古屋を中心に、首都圏地域での開催も検討してまいります。
- SNS等を活用した情報発信を検討していきます。

【株主還元】

- 連結配当性向30%以上としている還元策について、35%まで引き上げを目指します。
- 持続的、安定した配当を実施することを最優先とし、財政状況に応じ適宜、自己株式の取得も検討してまいります。

Copyright © 2024 Aisantechnology All Rights Reserved.

株主還元方針と配当政策

＜基本方針＞

株主様に対して、当社グループの経営成績に基づいた成果配分を安定的に実施します。

＜配当政策＞

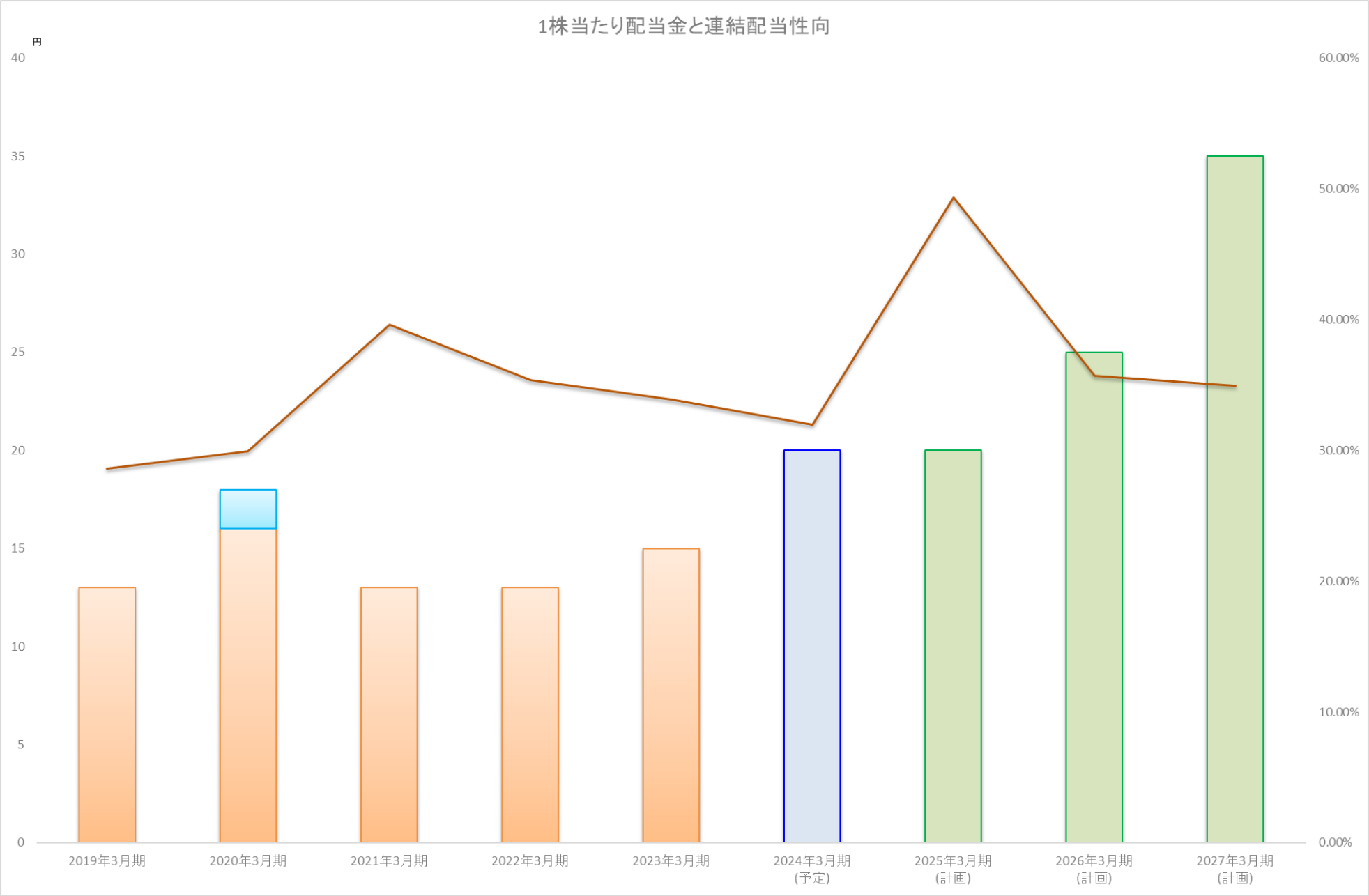
配当金については、毎期の経営成績、投資計画、内部留保の状況などを勘案し、連結配当性向35%を目標とし、安定的・継続的な配当を行うよう努めます。

(単位：百万円)

	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
売上高	6,000	7,200	8,000
当期純利益　※	221	382	547
配当金(円)	20	25	35
配当総額	109	136	191
配当性向(%)	49.3%	35.7%	35.0%

※会計基準改正に伴い、連結財務諸表においては、「親会社株主に帰属する当期純利益」と記載しております。

株主還元方針と配当政策



資本政策

当社グループは、資本政策を考えるに際し、株主様共通の利益を目指すとともに、企業価値の向上に資するよう、取締役会において、その必要性、合理性を十分に検討し、適正な手続きを経て決定するとともに、株主の皆様に対して十分な説明を行うことを基本方針としております。

AISAN
TECHNOLOGY CO.,LTD.